

## ◆特集 マイナ保険証を問う

よくよく 考えよう

さいたま市 斉藤 明

昨年12月中旬に風邪を引いたので近所の医院にいきました。医者にかかるのも久しぶりでした。窓口に体温を測定するのかと思った機器がありました。よく見るとマイナ保険証のカードリーダーでした。顔認証、暗証番号入力するものでした。

マイナ保険証のトラブルが起きているようです。

### 受診できず帰宅し心筋梗塞で亡くなる

経済評論家の荻原博子さんは、マイナ保険証で「資格情報が無効」「カードリーダーの接続不良・認識エラー」「該当被保険者番号がない」などのトラブルがあり、診察が受けられないまま帰宅した人が、心筋梗塞で亡くなるという死亡事例をあげています。

そうしたトラブル対応として「マイナ保険証」を持っている全員に「資格情報のお知らせ」を配り、「マイナ保

険証」が使えなくても診療が受けられるようにしているということです。

### 閉院する歯科医院

12月から新たに現行の健康保険証を発行しないこととなり、「マイナ保険証」が本格化するようになりました。システム変更に、セキュリティ確保が出来ないということで、さいたま市浦和区の「たつとみ歯科医院」はこの2月に閉院するという朝日新聞の記事を読みました。マイナ保険証になると、外部とのデータのやり取りをしなければならぬ、その時にハッキングされて患者の情報が漏れてしまった時の責任や、システム構築に130万〜200万円ほどかかるということもあって、閉院する決断をしたということでした。

マイナ保険証カードリーダー  
メーカーによってデザインが違う



## 顔認証が失敗例

東京新聞に載っていました昨年8月時点のマイナ保険証カードリーダーで顔認証が失敗の例。

「子どもは、いつも顔認証が反応しにくいので、毎回やり直しをしている」「顔は化粧次第でずいぶん変わるし、実際、顔認証ではじかれました」「カードを作った時は裸眼だったが、今はメガネなので顔認証ができない」「髪形変えたら認証されなくなつた」。

## 健康保険証にしか記載されていない情報

ファイナンシャルプランナーの黒田尚子さんがプレジデントオンラインで言っていたことですが、昨年12月

2日以降、新たに発行しないとされた健康保険証にしか記載されていない情報があります。知っていますか、というものでした。

その情報とは「保険者」です。保険者とは、健康保険事業の運営主体のことを言います。保険者は、加入者の職業などによって異なり、自営業者が加入するのは「国民健康保険」で、住所のある自治体が保険者として健康保険証に記載されているものです。マイナ保険証に切り替わると、医療機関はこれらの情報が一切わからなくなるといふものでした。

保険者がわかると、付加給付の内容を確認できるということなのです。

## マイナ保険証のデメリット

マイナ保険証には、メリットもありますが、顔認証エラーが生じる可能性、暗証番号を3回間違えるとロックがかかってしまいます。マイナンバーカードを毎回持つていかなければならないというデメリットもあるということです。そんなことも考えて、マイナ保険証にしたほうが良いかどうか、考えましょう。

(さいとう あきら)